

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人体形態機能学Ⅲ
講師	医師	実務経験の有無	有
単位数（時間）	1 単位 (30 時間)	開講年次・学期	1 年次 第 1 学期
授業概要＊講師からのメッセージ	看護実践に必要なひとの人体の構造と機能を学び、日常生活行動の援助を考えられるようになってほしいです。		
<p>目的：看護実践に必要な人体の構造と機能を理解できる。</p> <p>目標：1. ひとの造血機構のしくみと血液の働きを理解できる。      2. ひとの外部環境からの防御と生体内の防御のしくみと働きを理解できる。      3. ひとの生殖のしくみと働きを理解できる。      4. ひとの見る・聞く・話すに必要なしくみと働きを理解できる。</p>			
回	授業内容		
1	<b>血液・造血器</b> 1. 血液の成分と機能 1) 血球の性状と機能		
2	2) 止血機構と線溶 3) 免疫応答		
3	2. 造血のしくみ 1) 造血の 3 要素 2) 血液細胞の分化		
4	<b>免疫</b> 1. 免疫のしくみとアレルギー 1) 免疫反応と疾患 2) 生体防御のしくみ 3) 免疫と疾患		
5	2. 免疫担当細胞と伝達物質 1) 免疫担当細胞 2) 化学伝達物質とサイトカイン		
6	3. アレルギーのしくみ 1) アレルギー反応の分類 2) アレルゲンの種類 3) アレルギーの経過		
7	<b>生殖器</b> 1. 男性生殖器の構造		
8	2. 女性生殖器の構造		
9	3. 女性生殖器の機能		
10 (45 分)	終了試験		
11	<b>感覚器：皮膚</b> 1. 皮膚の構造		
12	2. 皮膚の機能		
13	<b>感覚器：眼</b> 1. 眼の構造と機能 1) 眼球 2) 視神経・視路 3) 眼球付属器		
14	<b>感覚器：耳鼻</b> 1. 耳の構造と機能 2. 鼻の構造と機能 3. 口腔と唾液腺の構造と機能		
15	4. 咽頭の構造と機能 5. 喉頭の構造と機能 6. 気管・食道・甲状腺の構造と機能		
16	<b>感覚器：歯・口腔</b> 1. 口腔 2. 口腔周囲 3. 頸骨・頸関節 4. 口腔顎顔面の筋 5. 唾液腺		
17 (45 分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 (100%) 評価基準参照		
教科書	医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院：系統看護学講座 専門分野 各成人看護学のテキスト		
参考書			
備考	「感覚器：耳鼻」について、「病態治療学Ⅲ感覚器：耳鼻」と合わせて、「耳」「鼻」「咽頭・喉頭」で計 3 回実施		